

危険!!

カイロ・床暖房で起きる低温火傷

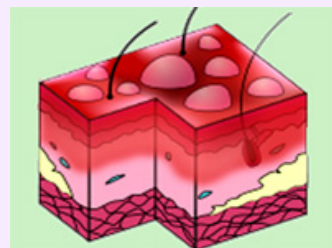


低温火傷は、直接皮膚に触れるタイプのカイロ、ホットカーペット、ノートパソコンの充電式電池と長時間接触すること等で起こります。低温火傷の面倒な点は、火傷のダメージがすぐには分かりにくい事です。表面の変化が少ないので軽いように見えますが、皮膚の表面と違って、皮膚の深部や脂肪細胞は痛覚神経からの痛みも少ないので軽く感じてしまいます。皮膚表面のみがダメージを受ける火傷以上に重症化することもあるようです。以下に低温火傷の起こり方や対処法などを紹介します。

低温だと深部が焼けてしまうのはなぜ？

火傷を起こすには、42℃以上の温度が必要ですが、皮膚の表面は角化しているので、42℃以上でも一定時間は耐えることができます。さらに、もう少し下の皮膚の下（真皮）は、体温を発散させるために、深部と比べて血液が多く流れています。言い換えると表皮に近い部分はある意味で水冷式になっているということです。

低温火傷の場合、真皮に加わった熱の多くは血流へ、残りは真皮の下皮下脂肪の方に伝わります。真皮の深い部分や皮下脂肪は真皮の表面ほど血流が多くないので熱による傷害が大きくなってしまいます。このために低温火傷は見た目が軽く見えても、皮膚の土台の真皮の深部や脂肪細胞に傷害が残るので、治りが遅い火傷になりがちなのです。



見た目は軽くても要注意。
中が焼けると治りが悪いのです。

家でできるやけどの対処方法

まずは冷やすことが大切です。流れる水で約30分は冷やした方がいいでしょう。その後、医療機関を受診しましょう。



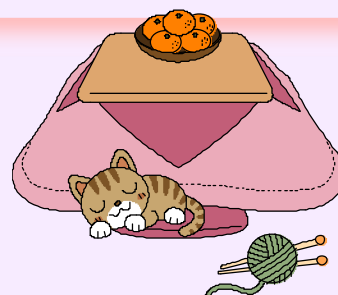
★冬場の低温火傷の原因としては、カイロが一番問題となります。正しく使えば問題ないので、以下の注意ポイントを押さえて使いましょう。

- ・布を使って伝わる熱を減らす
- ・同じ部位に当たる状態で長時間使わない
- ・絶対に就寝時には使わない

★床暖房で起こす低温火傷の原因の多くは、床暖房の場所で眠ってしまった場合がきっかけとなります。深酒をした場合には特に用心が必要です。床暖房上での飲酒はほどほどにしましょう。

皮膚に違和感を感じたらすぐに受診！

実際は深い部分が傷害されているので、傷害は強いのです。ひどい場合、皮膚の土台になる部分が障害されてしまって植皮手術が必要になることもあります。さらに麻酔の関係で入院が必要になってしまう場合もあるのです。熱を受けた皮膚に違和感を感じたらできるだけ早く医療機関を受診しましょう。受診するのは、皮膚科、形成外科などの熱傷を専門とする科です。



【参考資料：ALL About HP、【皮膚・爪・髪の病気】危険！カイロ・床暖房で起きる低温火傷より】

Triage System

救急部でトリアージシステムが開始されました。

トリアージとは？

トリアージという言葉は、フランス語で「仕分ける」という意味で、一定の基準に従い、来院された患者さんの病気の状況、緊急性を迅速に判断し、診療の優先順位を決めるシステムです。



救急外来になぜトリアージが必要なのか？

重症患者さんから軽症患者さんまで、様々な患者さんが集まる救急外来では、限られた人員や医療資源の中で、患者さんの来院時点から緊急度を判断し、緊急度に応じた診療体制を選定するシステムが必須です。

トリアージを行う目的は、救急外来を受診される多くの患者さんを、一定の基準に従って選定することによって、診療の効率を改善し、より質の高い治療を提供することです。当院の救急外来では、専門知識を有した看護師が症状を伺い、その患者さんの緊急度・重症度を判断し、より早期に治療を必要とする患者さんから優先して診療を提供しています。場合によって診療の順番が前後することがありますが、予めご理解・ご協力をお願い致します。また、待ち時間中에서도、体調が悪化された場合は迅速に対応できますのでご安心ください。

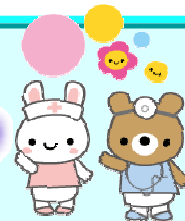
救急看護師はトリアージについて専門的な知識を学習し、自己研鑽に努めています。



11月
8日(木)

今年もたくさんのご参加ありがとうございました。

の糖尿病週間行事について



今年の糖尿病週間行事はいかがでしたでしょうか？おかげさまで、各コーナー盛況理に終えることが出来ました。この次も更に皆さんにご満足頂けるよう充実した内容にしていきたいと考えております。



血圧測定



フットケアの相談



身体測定